

イラクの大量破壊兵器譲渡 CIA、証拠つかめず 米専門家が報告書 米紙

米国のシンクタンク、戦略国際研究センター(CSIS)のアンソニー・コーデスマン上級研究員は十四日、報告書を発表し、イラクで大量破壊兵器を捜索している米中央情報局(CIA)のチームが旧フセイン政権が大量破壊兵器をテロリストに譲渡しようとした証拠を見付けていないことを明らかにしました。米紙ワシントン・ポスト十六日付(電子版)が報じました。

同研究員は十一月一～十二日にかけて、イラクの首都バグダッド、バベル、ティクリット、キルクークの各都市を訪問。現地でCIAのデービッド・ケイ特別顧問や暫定行政当局(CPA)のブレマー文民行政官らから状況説明を受けました。報告書はそれをまとめたものです。

それによると、ケイ氏は「イラクが大量破壊兵器や武器をテロリストに譲渡しようとした証拠はない」と述べたといいます。ケイ氏は「イラクは一九九九年以降、確かに核設備を注文したが、それを使用するための主要な新施設の証拠は何も見付かっていない」とも語りました。

ケイ氏を団長とする米調査団は十月二日に、「大量破壊兵器の証拠は未発見」とする暫定報告を出しました。コーデスマン研究員の報告書は、米政権が示した「イラクの脅威」という戦争の根拠のでたらめさを、いっそう浮き彫りにしています。